



第25号  
発行  
旭区 高殿5-6-41  
大阪府立旭高校同窓会  
発行人 上浦康平  
編集  
旭窓会報編集委員会

### 同窓生の皆様へ

同窓会会長 四期生  
上浦 康平



大阪府立旭高等学校も四十六年目となり、二〇〇一年には創立五〇周年を迎える伝統校となりました。一〜四期生は、定年を経験し、第二、第三の人生へと

### 旭高校は今

現校長  
川村 眞澄



今夏は、台風と大雨の夏でしたが、同窓会会員の皆様のおかげで、益々健康で活躍のことがお慶び申し上げます。さて、昨年一月、会員数二

歩み頓々となってきました。反面、会員数も一万八〇〇〇人余りとなり、日本社会で中堅としての活躍が目立ち、旭高校卒業生として大いに自信を持って奮闘が漂っている頃です。先日私の職場で、主任会議、管理者会議を開催したとき、それぞれに第四期生の船場太郎氏、第一期生の乾龍介氏を講師として招き、大変な好評を得ました。このように同窓生がいろいろな業界で活躍し、研修、会議の場で、他の組織でも認められる人生を多数の同窓生が過ごしておられる事を知り、本当にうれしく思っております。現在日本社会の中心をなっている年齢が、創立五〇周年を迎える伝統校の卒業生が占めていることを身をもって感じているこの頃です。

万名近くの同窓会名簿が、役員諸氏および会員の皆様の大変な努力で発行されました。ページをめくって見ると、多士済々、旭高校の伝統の重さがひしひしと伝わってきます。これを機に、同期会やクラス会またクラブのOB会などが開かれたと聞いております。うれしい限りです。また、二期生で現在アメリカの化学会社の財界マンが、国際化学会の諸君に貴重な体験を話してくださり、このような形で同窓会との交流もあるのだなとご協力を感謝する次第です。今後も各界でご活躍中の同窓会員のお力を直接在校生に役立てて頂くべく、ご無理申し上げることがあるかもしれませんが、そのときはどうかよろしくお願い致します。本年も昨年同様かなりの人事異動があり、岸田教頭が阿武野

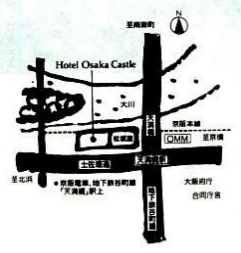
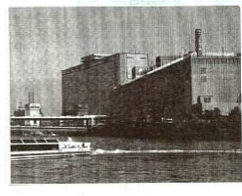
同窓会は、それらの人々と同じ場所での生活をした親しみの一番強い集合体だと現います。昔を振り返りながら、現在の自分の立場を見つめ直し、更なる活躍の力を得る絶好の場と信じて、今年も、(一月二十五日) 土曜大阪キャッスルホテルで九年度大阪府立旭高校同窓会総会を計画しました。

同窓会では、それらの人々と同じ場所での生活をした親しみの一番強い集合体だと現います。昔を振り返りながら、現在の自分の立場を見つめ直し、更なる活躍の力を得る絶好の場と信じて、今年も、(一月二十五日) 土曜大阪キャッスルホテルで九年度大阪府立旭高校同窓会総会を計画しました。

## 大阪府立旭高校同窓会総会

10月25日(土) 大阪キャッスルホテル

日時 平成9年10月25日(土)  
午前11時開会(総会を開会します)  
場所 大阪キャッスルホテル  
〒540 大阪市中央区天満橋京町1-1 ☎(06) 942-2401  
■大阪駅より15分  
地下鉄谷町線「東梅田駅」より2つ目「天満橋」駅上、川沿い松坂屋隣り。  
■新大阪駅より20分  
地下鉄御堂筋線にて「淀屋橋」下車、京阪電車にて2つ目「天満橋」駅西出口上る川沿い。  
会費 8,000円(当日受付にていただきます)  
(40期以降は3,000円)



出欠のハガキは10月15日までに必ずご返送ください

### 在校生から

現生徒会長  
吉川 哉子



去年一年間、私は韓国朝鮮語の授業を受けました。先生は在日韓国人です。その先生の授業はとて楽しく、今まで韓国については、焼肉、キムチぐらいしか知らなかった私も、韓国のあらゆる文化に魅力を感じるようになりました。実際に授業の中で、韓国で有名な歌を教わったり、韓国の太鼓をたたかせて

皆様のも更なるご活躍をお祈りいたしまして、近況報告といたしまして。この授業で学んだことは、文化や歴史だけでなく、人と人の心が通じるすばらしさです。これは、国を越えなくとも、身近な所で感じられることだと思えます。それを感じる事が国際人の第一歩だと感じます。

### 校内理事になって

校内理事  
大村 一人



本年四月二日付で、府立茨田

### 《同窓会への寄付のお願い》

同窓生諸君、同窓会の運営を維持するため、又母校、PTA、同窓会の共同参加による現役諸君への施設関係の援助が出来る運営資金確保のため、皆様方のご協力をお願いいたします。1口1,000円以上、いくらでも結構ですので、今後永く同窓会の援助よろしくをお願いいたします。同封の振込み用紙で納金よろしく。

高校から転任してまいりました。二〇年前に旭高校を追い出されました三期生です。母校の教壇に立てるなんて悪夢いえず、夢のようです。旭高校の発展に微力ながら役立ちたいと思っています(除の声ほんたかないな。大丈夫かいな)ので、よろしくご指導のほどお願いいたします。旭温泉と私たちの時は言われたものですが、今もこの伝統(た)は受け継がれているようです。当時の本校OBの先生に言われたことを、今の生徒に言っておくべきかと思っております。「しっかりと勉強しなさい。わたしの時にもっと勉強したぞ」と。とにかく、前任者の内田、梶谷両先生を見習って同窓会活動をしたいと思っております。一月二十四日、二期生のみならず、同窓会をしますので、集まっております。



### 22期生同期会に参加して

22期生

札谷 全啓

五月四日、守口プリンスホテルにて三期として初めての同窓会を開きました。会場では久しぶりに会う顔に最初は戸惑う場面もあったもののすぐに打ち解け、二〇数年の歳月を感じさせない楽しい会話が繰り広げられました。

高校生活はずか三年間にしか過ぎません。それなのに何年経つても忘れるどころか郷愁が募るのは何故なのでしょう。それは私たちが知らないうちに多くのしがみつきや世間体等に縛られて息苦しい毎日を送っているからではないでしょうか。銀行や証券会社でエリートと呼ばれる人達の犯罪を新聞で見ると、地球環境の深刻な実体を知らされるとき、私たちは生き方が、今の文明社会そのものが間違っていたことに気づきます。誰もが幸せを求めながらモノの豊かさを求める、幸せのようなものを手に入れようと奔走してました。本当の幸せとは旧友にあつた時のあの

心やすらぎであり、その元気を喜ぶ素直な心ではないでしょうか。多感な青春時代を共にしたこの出会いに感謝して人生の続く限り本音で語り合える仲間を得られたら、それこそが何物にも代え難い人生の財産だと思います。二期の皆さん、また五年後に会いましょう。



### 32期生同期会を開いて

32期生

樋口(松本) 香里

晴天に恵まれた八月一日、三期生同期会を開催させていただきました。卒業して一二年、全員が三〇歳になる今年にこのような会をもてたことは、一つの節目として大きな意義があるように思います。当日は三〇余名の方に出席していただき、上浦会長、伊藤八郎先生、荻田竜三先生、丸山賢先生、神前能理子先生などにも出席していただき、本当に盛大な会となりました。クラスという枠からはずれて本心に懐かしい顔がばりばり、一気にあの頃にタイムスリップしたように今回想事をさせていたいです。

現在、府立野野高校に勤務しています。三年前野野入院生活でしたが、今は元気に毎日部活動の指導やタタキと忙しく過ごしています。毎年この同窓会に参加し、皆様方の顔を見、昔の懐かしさ思い出を語るのを楽しみにしています。



思ったことは、幹事などはやはり複数で分担する方がよいということ。こういう機会はずいぶん、旭高の卒業生として意識をもってもらいたいと思いました。本日に貴重な経験させていただき感謝しています。またこの場をお借りして、本当にたくさんの方々に手お返ししていただいたこととお礼申し上げます。ありがとうございました。

●富水公一  
現在私の家には狭いですが庭がありまして、ピワ、カキ、サクラノボ、ユスラウメ、ウメ、ハツサク、キンカン、ユズ、ミカン、スタキなど草花、野菜を合わせて、約七〇種類の植物があります。一年中これらの植物の手入れや除草で多忙な毎日です。元気で過ごしております。

●益田豊爾  
今年もなつかしい方々にお目にかかれる日を楽しみにしています。

●林一  
平成三年三月に、城南女子短大を最後に全くのフリー。ありあまる余暇を十二分に満喫しています。日課として、朝晩の娘のアップリ君、花壇の水やりやテレビゲームへの挑戦、読書、カラオケ等々。結構、退屈することなく過ごしている次第です。喜寿は軽く突破し、今は米役員が目標です。また今年も懐かしい皆様にお会いできる日を心から楽しみにしています。

●伊藤八郎  
毎回お世話になっております。今度もよろしくお願います。一度一週間前に私の高校の同窓会(同期)を嵐山で開く予定で、ガラにもなく世話人を務めます。

●岩谷三男  
本年三月末をもって、四天王寺高校を定年退職し、四月からは講師として、ひきつづき四天王寺高校に在職しております。週五日間勤務し、土日はパソコンをして元気に、テニスをやったりして元気にしております。今年から心のゆとりでもできましたので、久しぶりに同窓会へも顔を出させていただきます。どうかと考えております。

●山田耕作  
まだ、私学に勤務しています。当日、学校が休みではないので遅刻しますが、出席させていただきますつもりです。

●山室昭宏  
定時制の教頭となり生活が一変しました。旭での経験を生かし、困難を抱いた生徒達の一助になればと思います。努力しております。

●藤森完治  
お招き有難うございます。昨年は出席させて頂き、楽しいひとときを過ごしました。今年もできましたら出席させて頂こうと思っております。

●若谷三男  
本年三月末をもって、四天王寺高校を定年退職し、四月からは講師として、ひきつづき四天王寺高校に在職しております。週五日間勤務し、土日はパソコンをして元気に、テニスをやったりして元気にしております。今年から心のゆとりでもできましたので、久しぶりに同窓会へも顔を出させていただきます。どうかと考えております。

### 第2回・6期会 二次会はカラオケで大合唱!



去る平成八年一〇月三十一日(日)、午後四時から本町にあるスカイバル大阪に於て、第二期六期会の集いがもたれました。来賓には上浦同窓会長をはじめ、高岡先生、前島(旧姓)・布

### 恩師近況短信(旧職員)

●板東良二  
現在、府立野野高校に勤務しています。三年前野野入院生活でしたが、今は元気に毎日部活動の指導やタタキと忙しく過ごしています。毎年この同窓会に参加し、皆様方の顔を見、昔の懐かしさ思い出を語るのを楽しみにしています。

●倉西博之  
役員の方皆さんいつもご苦労様です。同窓会には体調が許せば出席させていただきます。三月に申しましたが、三月に思いがけず病気がかり、一カ月ばかり入院しました。今は一応通常の生活に戻って、勤めにも出てはいるものの、まだまだ完治というわけには行かず、引き続き通院加療中の身です。医者からは、再発防止のため特に飲食については厳しく制限されています。そんな次第で、一〇月二五日といえは先分ですが、必ず出席するお約束はできませんので、お許し下さい。

●斎藤田鶴子  
案内ありがとうございました。退職して八年が経過しました。見違える程健康になり、創作することで自己を見つめ直しています。昨年は小説でコスモス文学新人賞を受賞しました。

●若谷三男  
本年三月末をもって、四天王寺高校を定年退職し、四月からは講師として、ひきつづき四天王寺高校に在職しております。週五日間勤務し、土日はパソコンをして元気に、テニスをやったりして元気にしております。今年から心のゆとりでもできましたので、久しぶりに同窓会へも顔を出させていただきます。どうかと考えております。

# 平成 8 年度同窓会総会開く

平成 8 年 11 月 2 日 於：大阪キャッスルホテル

平成八年十一月二日(土) 大阪キャッスルホテルで開催。今回は会員が一八名参加していただき、卒業したばかりの仲間も七名参加していただき楽しい一時を過ごせました。

平成九年度はもっと多数の会員の参加を期待しています。当日参加者の方々から多額の寄付金をしていただき心から感謝致します。

会長 上浦康平(四期生)

### 〈寄付者一覧〉



◎ 辻野 鹿雄  
農作業と剣道の稽古に静かな日々を元気に過して居ります。

◎ 高橋 京平  
定年後七カ年間自己の健康管理を兼ねて私学に勤務してまいりましたが、昨年春に一市井の人となりました。拘束されない生活を体験し、改めて自由の魅力さを噛み締めています。長男が国費で一年間アメリカへ研修出張をいたしましたので、長男家族の対米生活に肖って私も短い日程でしたが、妻と共に海外生活を体験してきました。旅は道づれ世は情けではないけれど、十数年前から旅の友ができ、お互いに誘い合って二天婦一緒に年間数回、有意義な旅に出ています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 入江 実  
昨年と変わりありません。元氣にしております。毎年ご案内ありがとうございます。

◎ 難波 量平  
囲碁に夢中になっています。囲碁の定石を並べたりすると囲碁の奥深さに人生を感じる事が有ります。

機会があれば一緒に楽しみたいと思っております。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 山本 茂雄  
会員のみなさん、総会当日お互いに元氣な姿で再会出来ることを、今から楽しみにしています。

◎ 二宮 金吾  
気持ちは変わらないつもりですが、年金は確実に毎年増えていきますね。

気がついてみたら、六〇歳まであと一年余、人生前半最終の職場は池田市の渋谷高校です。そして、人生後半はどこから始まるのでしょうか。皆さんと会い、皆さんと知り合えたこの財産は大切にしたいと思ひます。

◎ 内垣 進一  
現在、府立阿倍野高校で勤務しております。

なつかしく、久しぶりに参加させて頂きます。

同窓会の役員・幹事の皆様にはご苦労様ですがよろしくお願ひ致します。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

◎ 藤澤 彰彰  
旭を離れて九年、非常勤講師として勤め始めました。九期生の方々が最初の授業だったと思ひ起します。

旭の思い出は未だに私には続いています。卒業後、それぞれの道に力強く生きていらっしゃる皆様、どうぞ健やかに、正しい光を見つめて進んで下さい。旭は、永遠に昇り続けます。

お招きありがとうございます。私は今、保護司の仕事と、地域のコミュニティの広報の仕事など、ボランティアをしています。

今回の総会にご出席予定の現教職員

- 大村一人 谷 和夫
- 西岡昭弘 森川良喜
- 戸田浩司 橋本桂三
- 林 廣介 喜多村滋
- 筒井和幸 横田 裕
- 仲明世 津川昌司
- 芝原 武田吉弘
- 前田正和 前田マサエ

# 成果をあげた初の海外修学旅行

## 大阪府立旭高等学校教諭 樋上 晃二



最後の確認もすて終了したはずなのに、関西国際空港の四階出発搭乗口に立った瞬間、何か出た。昨年一月十九日、午前一時の事だった。

府立高校初めての海外修学旅行実施を決定したのは、この学年の入学以前、新任担任が結成された三月、国際教養科が本校に設置されて四年、統括する図書教養部を中心に、カリキュラム、行事等、本校独自の特徴を創り出すための工夫がなされて来た。そこで前校長、石井康男先生の積極的な御協力もあり、この学年の修学旅行については、担任会議で十分な検討の結果、「府教委が示すモデルに乗って行こう」と結論を出し、「海外中国」に向かった。約一年半余りの準備期間がある。約一年、国内修学旅行の経験は何回かあるもの、海外については全く経験も資料もなく、何から手をつけていけばよいかわからないのが現実だった。まずは教員間の関係を何回となく話し、「府教委の指導も仰ぎながら、平和教育」を前面に押し出し、真の国際人になるために「をスローガンにスタートしたのである。

「光陰矢の如し、約一年半の準備期間、想い遣えば色々な問題に悩んだこともあったが、いよいよ旅立ちの瞬間を迎えていた。日

向けて離陸した瞬間、期待して生徒達から大きな歓声と拍手が聞こえたのが印象的であった。

約二時間後、バスポートと搭乗券を握りしめ、我々は中国の地を踏んでいた。生徒達の目は何か新しいものを発見しようというキラキラとした光を見渡し、心はワクワク何かが落ちつかない様子であった。私は三年前、パレポールの親善試合でこの地を訪れたことがある。その時の様子と今のバスの車窓から見る上海市内の風景とは随分変わっていた。道路は自走車であふれ、車その自走車をかきわけ警笛をひびかせ、その間を通行人が行きさかす。この情景は全く同じだ。しかし、その道路には高層ビルの建設ラッシュ、都市全体がゴゴロと音をたて、エネルギーがほとばしっている。車内で中国貨幣を受けとり生徒達はこれから始まる中国の旅に大いに盛り上がりつつあった。人ごみの中を目を見開き、耳をそばだてて豫園と東洋の、テレビ塔を見学したあと、最新型の快速列車にゆられ、次の目的地である南京に到着したのは、夜もふけた二時過ぎであった。生徒達は八部屋に落ち着き、慣れないお風呂に入り、ベッドにもぐり込もうとする、興奮のあまりさつと寝つきが悪いのだから、生徒達の声私の部屋に聞こえてくるような気がした。

中国の朝は早い。ホテルの前では大機雷をさすお祭りも多く見かけた。さて今日はこの旅行の大きな目的の一つ「南京大屠殺」の見学である。午前中の中山陵博物館見学を終え、昼食のあとと徐々に生徒達の表情が変わってきた。記念館の入口をパスが通過した瞬間、私の目にはそれがあまり見えた。歴史を全員で熟読してきた時間をかけ、あらゆる角度から人々の苦しみが生徒達に伝わっていた。大々時間が長く感じられた。

無錫に向かうバスの中では、普段の生徒の姿に戻っていた。

車窓から見る中国のスケールの大きさに改めて感動を覚え、夕陽を背にバスは無錫に到着した。体調を崩す生徒もほとんどなく、今日まで順調にきている。引率団全体、ホッと息をついた。

三日目の午前中は太湖遊覧である。中国五大淡水湖の一つ琵琶湖の四倍の大きさである。ゆつたりとした気分でおしゃべりをして、あちこちでジャッターを切る音がした。

約一時間の遊覧のあと、列車にゆられ旅行団は最初の到着地、上海に居た。いよいよこの旅行最大の行事、延安中学校との交流会である。旅行員を中心と一番時間をかけ、いろいろと準備した空気を、習慣、言葉、色々な違いのあるなかで、生徒達は果たしてうまくやるか? 不安一杯だったのは秘しだけだった。校門でこの歓迎の迎え、視聴覚室へ入ると事前文通で覚えた笑顔があり、思わず手をあげて合図していた。七、七の二のあと、各班に分かれ、日本から持ってきたお菓子を食べながら、身振り手振りの英語で、延安中学生の流暢な英語にコンプレックスを感じた生徒も多かった。校庭でのバスケットボール、校内放送、記念品交換、写真、最後に全員が視聴覚室に戻り、両校の出し物を披露し、時間の経つのを忘れるくらい大変有意義で楽しい雰囲気になりました。お別れの時のためにもバスから手を振る生徒達の姿が、大変印象的だった。その夜は日本の家族や友人の顔を浮かべていた者がたくさんいたのではないだろうか。

両手一杯に荷物を持ち一〇月二日、一六時〇〇分、旅行団は関西空港の到着口には居た。過密日程であったが、生徒の表情には何か心地よい疲労感が見えた。大過か過ぎた短い「旅」ではあったが、大きな事をなし遂げた満足感がある。生徒達にとっては、この自分より、大々になったと気付くのは、もう少し後になってからのことだろうか。

### ●野球部

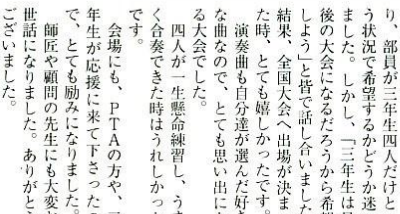
山本 聡

時のたつのは早いもので、あっという間に三年生最後の夏の大会が始まった。今年の一回戦の相手高は清見。弱くとも聞いたので、皆、余裕を持って試合に臨んでみた。けれどなかなか点もとれずには進んでいく。体調を崩す生徒もほとんどなく、今日も頑張った。何回かチャンスもあったのだが、こここくとくつさぶされた。九回裏にもチャンスはあったのだがだめだった。延長戦に入り、ここまで登り調子だった五番福田が爆発した。それにより、二回戦はここまで何回か練習試合をしたことのある大東高校と対戦することになった。試合は二回裏、二番曾我部、三番山本で四点を挙げた。七回コールド結果は12-4。七回コールドだったが、皆、すっきりしたと思う。点数だけみるとさっぱりと通りだ。しかし僕らは胸を張ってこの試合のことを話せる。なぜなら、皆が「一軍団結できた瞬間」だからだ。

### ●筆曲部

富田真未

私達筆曲部は、八月一日に奈良県天理市・天理市民会館で行われた全国高等学校総合文化祭に出場しました。今年度から、二月に行われる大阪高等学校芸術文化祭に、大会への出場希望をした高校から代表が選ばれるという方法になりました。しかし、三年生は最後の大会となるから希望しようという話で話し合いました。結果、全国大会へ出場が決まった時、とても嬉しかったです。演奏曲も自分達が選んだ好きな曲なので、とても思い入れが強い大会です。四人が一生懸命練習し、うまく合奏できた時はうれしかったです。会場にも、PTAの方や、二年生が応援に来て下さったのでとても励みになりました。師匠や顧問の先生にも大変お世話になりました。ありがとうございました。



富田真未、筆曲部メンバーの演奏風景



野球部の選手たち

### (転入)

- 岸田 佑史 教頭 阿武野高校へ
- 内田 勝久 教諭 国語 長吉高校へ
- 納屋 顕 教諭 国語 交野看護学校へ
- 藤岡 泰成 教諭 社会 鳥飼高校へ
- 斉藤 知秀 教諭 社会 箕面工業学校へ
- 山室 昭宏 教諭 数学 吹田一定高校(教頭)へ
- 坂谷 健一 教諭 数学 今早工業学校へ
- 鎌田 則子 教諭 体育 八尾南高校へ
- 川西 純子 教諭 家庭 伯大高校へ

### (転入)

- 片平 厚子 教頭
- 開学谷 学 教諭 国語 茨木東高校より
- 安西 賢二 教諭 国語 池田北高校より
- 竹中 信雄 教諭 社会 大正高校より
- 南沢 清美 教諭 社会 少路高校より
- 大村 一人 教諭 社会 茨田高校より
- 清水 大策 教諭 数学 北千里高校より

### (国公立大学、短期大学)

- 京都教育大学、三重大学、大阪教育大学、滋賀県立大学、鳥根大学、広島県立保健福祉短期大学
- (私立大学)
- 早稲田大学、慶応大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学、龍谷大学、京都産業大学、甲南大学、近畿大学、京都女子大学、武庫川女子大学、甲南女子大学、関西外国語大学、大阪経済大学、大阪産業大学、芝浦工業大学、奈良大学、天理大学、大倉大学、信教大学、ほか

### (私立短期大学)

- 同志社女子大学短期大学部、武庫川女子大学短期大学部、関西外国語大学短期大学部、神戸松蔭女子学院短期大学部、龍谷大学短期大学部、大阪学院短期大学部、平安女学院短期大学部、龍谷大学短期大学部、常盤短期大学、金剛短期大学、ブリー学院短期大学、神学院女子短期大学、四天王寺国際仏教短期大学、ほか

### (就職)

大阪市(一般事務) 京阪百貨店、松下精工、村上衛器、ヤマト、中慶、ほか

1997年度人事異動報告(敬称略)